

企業の出勤状況調査（2023年9月分）

<アンケート結果総括>

▪ 集計結果概要

- 約 8割の企業がテレワークを実施、約 6割の企業が時差出勤を実施している。
- 8月はコロナ5類移行直後であった5月と比べ、取組をした企業は横ばいとなった。

以前から引き続き、多くの企業の皆様には、テレワークや時差出勤を始めとするスムーズビズの実施にご協力いただいております。

テレワークや時差通勤を始めとするスムーズビズの実施は、通勤ラッシュの回避や新しいワークスタイルの実現に新型コロナウイルス感染症の再拡大防止にも役立ちます。引き続き、スムーズビズにご協力をお願いします。

調査にご協力いただき、ありがとうございました。

引き続き、定期的に調査を行い、登録企業の皆さまの取組状況把握に努め、都の取組検討に活用してまいります。今後とも、アンケートへのご協力をお願いいたします。

企業の出勤状況調査（2023年9月分）

<実施概要>

■対象：約 58,000社

（スムーズBiz・時差Biz及び2020TDM推進プロジェクト登録企業、スムーズBiz実践期間の事後アンケート回答企業）

■質問項目

Q1: 8月の取り組み内容

Q2: 2023年5月からの取組規模の変化

Q3: テレワークと時差出勤について

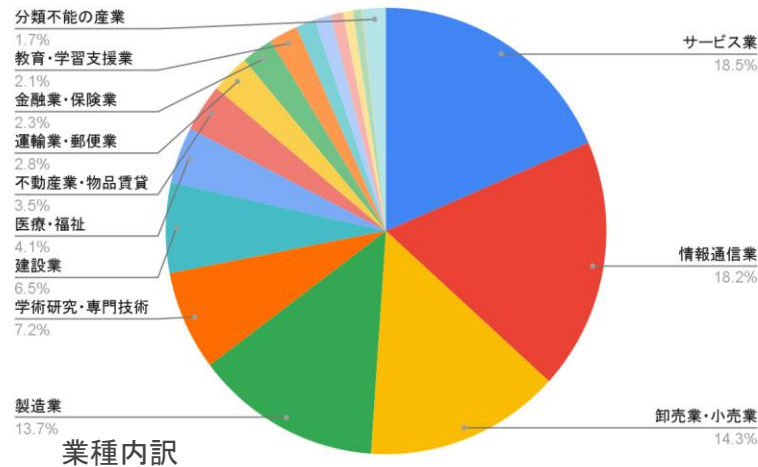
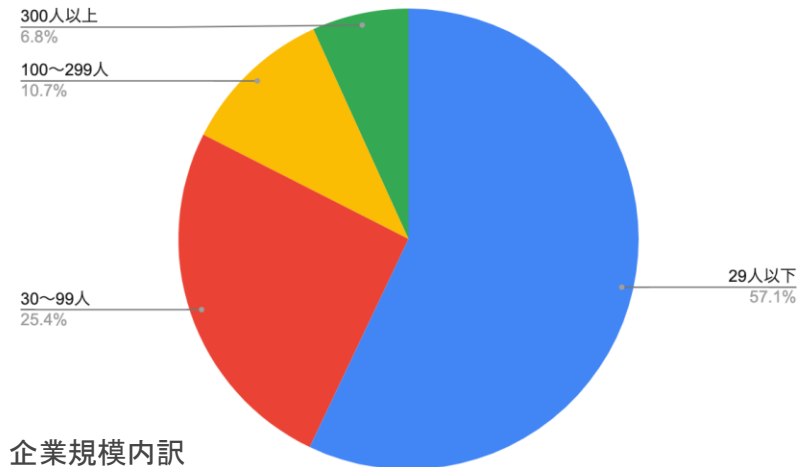
Q4: 従業員の出勤割合

Q5: 従業員の出勤時刻

Q6, Q7: スムーズBizPR動画・オフピーク通勤の新ポスター

■総回答企業数：1,621社

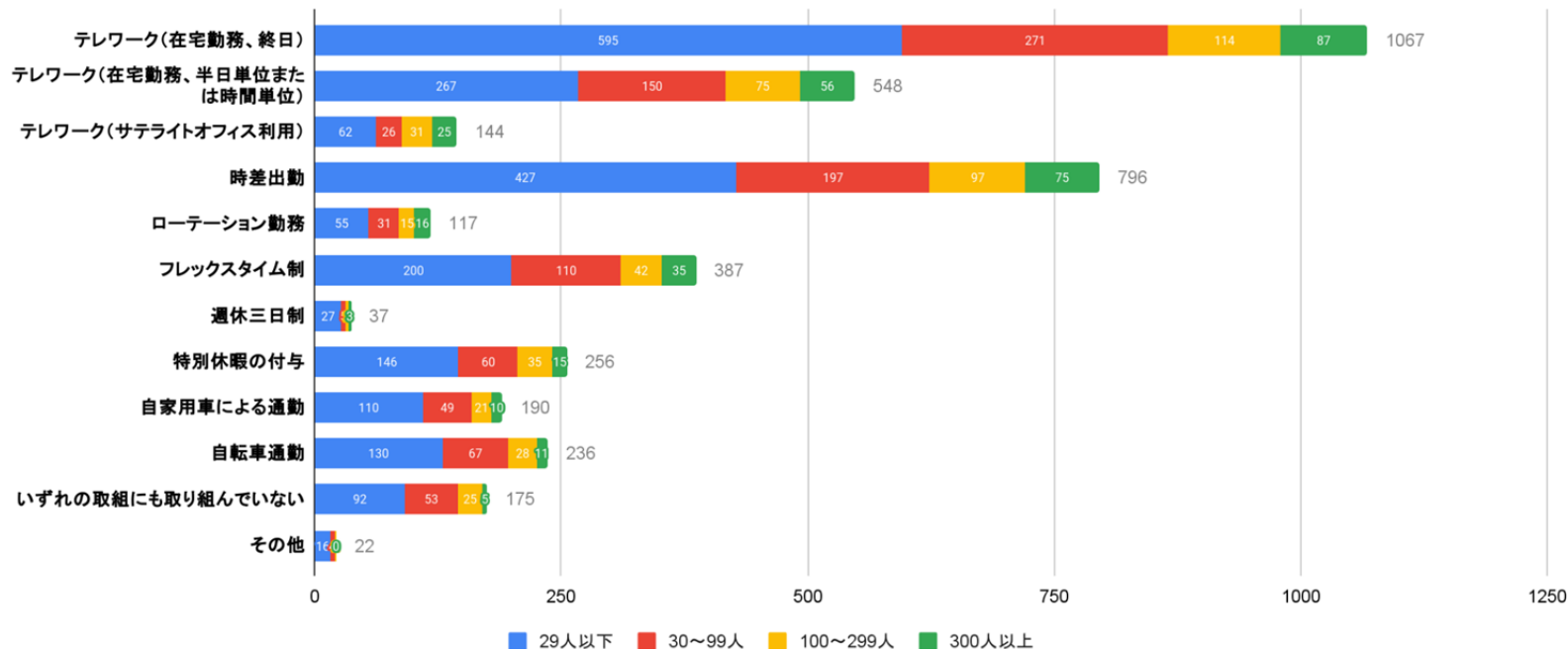
■実施期間：2023年9月14日～9月26日



Q1: 8月の取り組み内容

8月に回答企業が実施した取組内容内訳（複数回答可）

- ・ 約 8割の企業がテレワークを実施、約 6割の企業が時差出勤を実施している
- ・ 次いで約 1割の企業がフレックスタイムを実施している



取り組み内容と企業規模の内訳

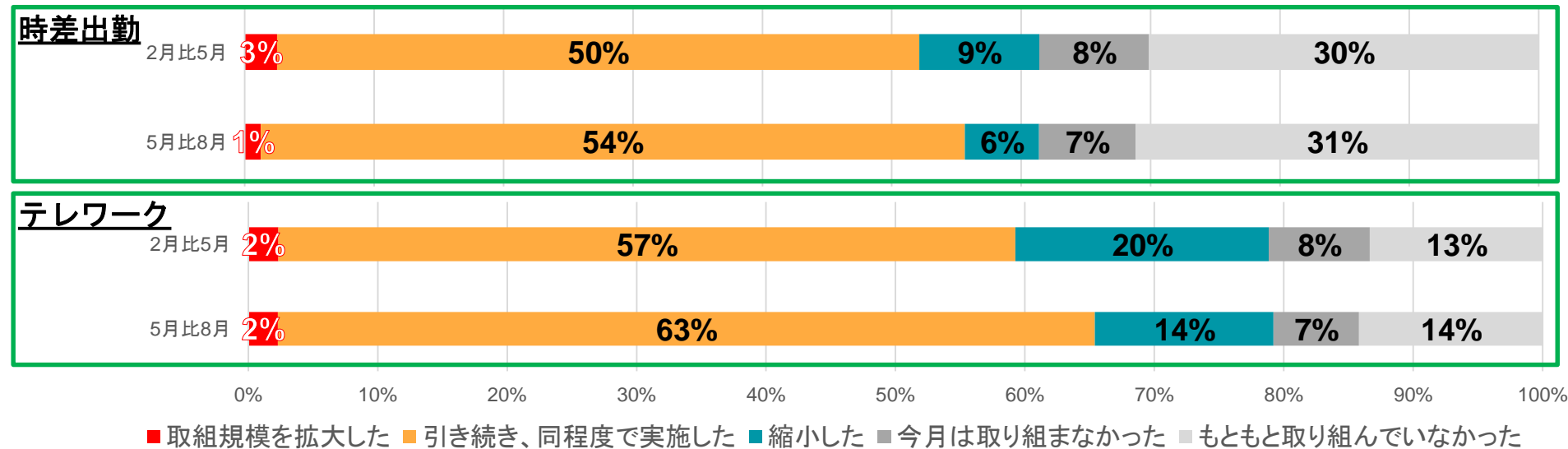
(N=1,621／複数回答)

Q2: 2023年5月からの取組規模の変化

2023年5月と比較したテレワーク・時差出勤の取組規模の変化

- ・ 5月以降新たに取組を実施した企業は少ないが、6割近くの企業が引き続き取組を行っている
- ・ 8月はコロナ5類移行直後であった5月と比べ、取組をした企業は横ばいとなった。

(N = 1,621)

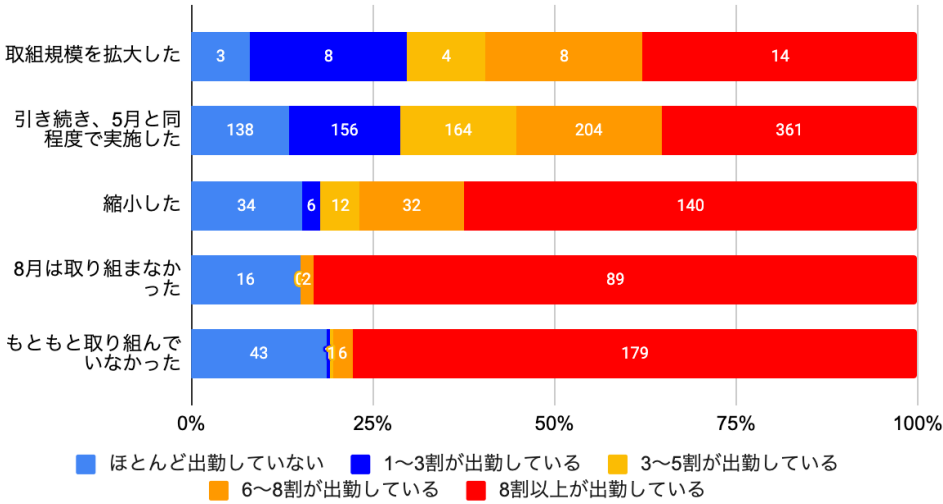


取組規模の変化と従業員の出勤割合

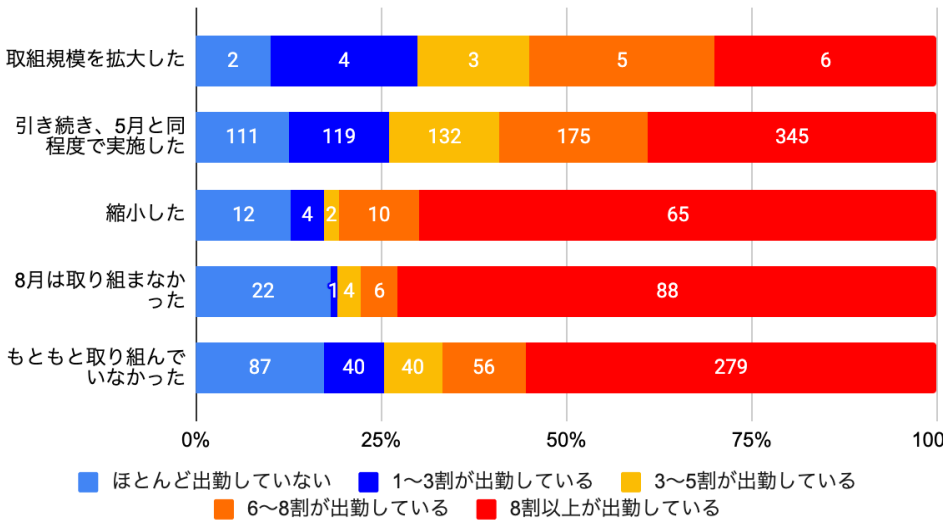
Q2の取組規模とQ4の出勤状況の関係

- ・テレワーク、時差出勤ともに取組の規模を拡大するにつれ出勤率が下がっている
- ・時差出勤に関しては、もともと取り組んでいなかった企業においても約4割が8割以下の出勤率と回答

テレワーク



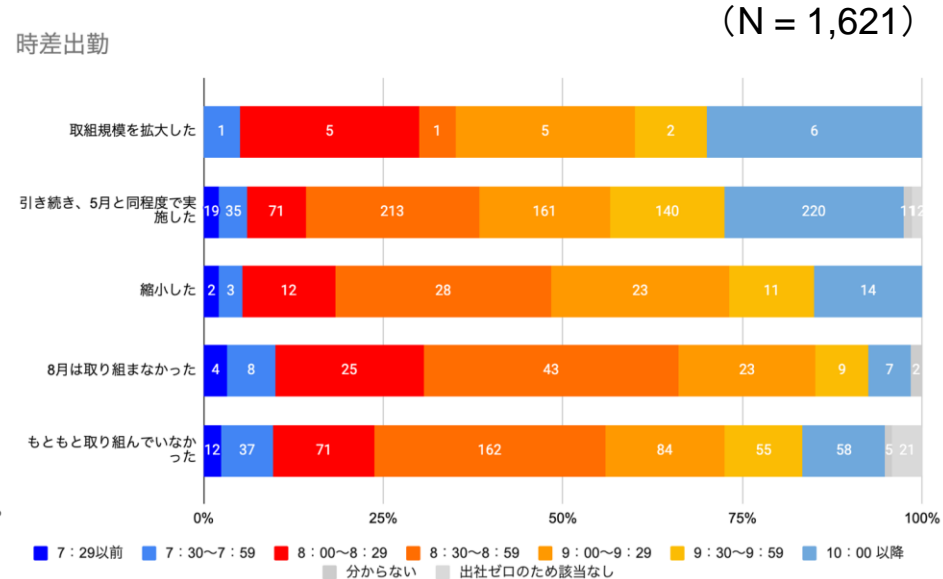
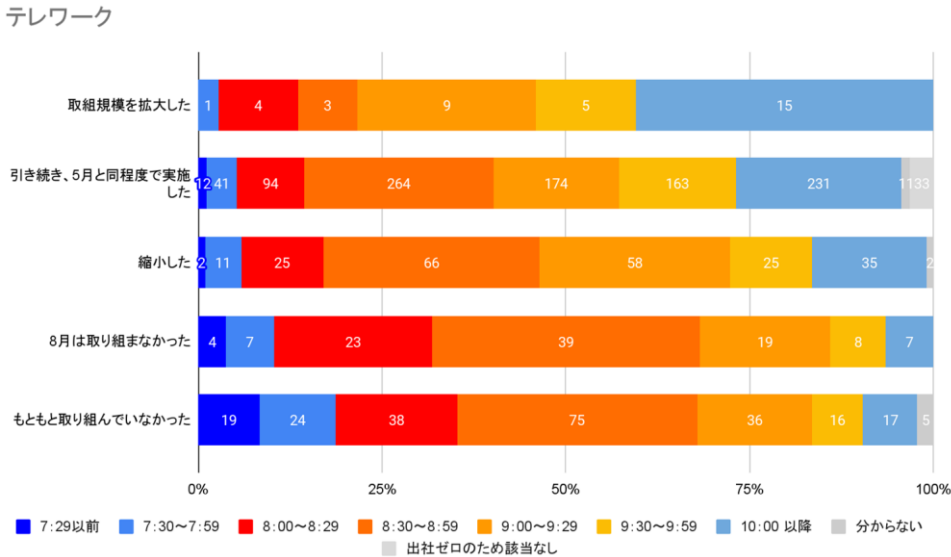
時差出勤 (N = 1,621)



取組規模の変化と従業員の出勤時刻

Q2の取組規模と出勤時刻の関係

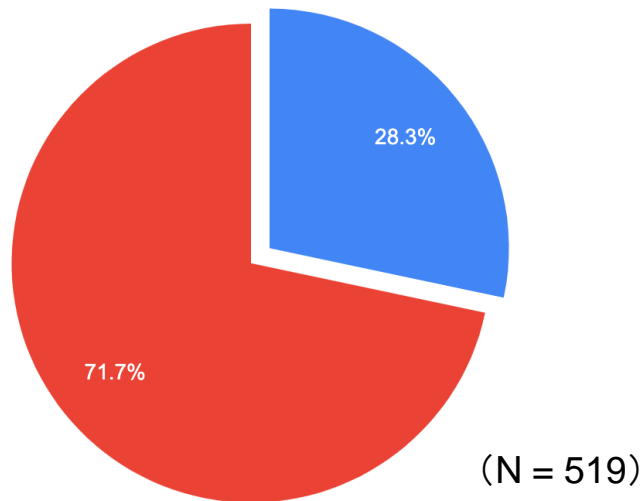
・テレワーク、時差出勤ともに、拡大した、同程度で実施したと回答した企業の方が9時以降の出勤割合が高い。



Q3: テレワークを実施しない理由

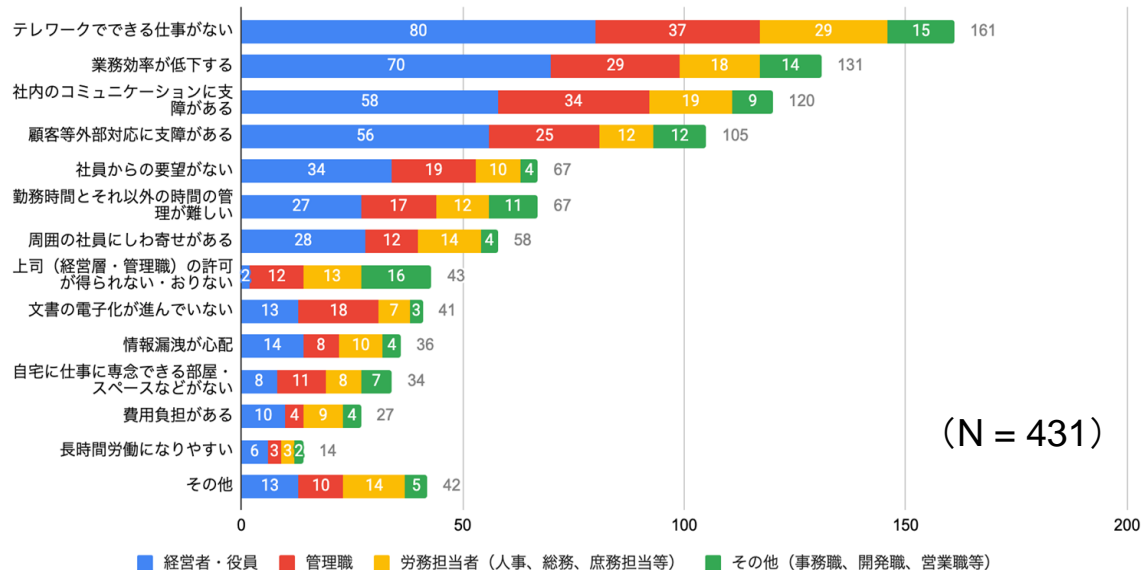
Q1において、「テレワーク」を選択されなかった企業のテレワークの未実施理由

- ・ 以前は実施していた企業が約 7割
- ・ 原因としては「テレワークのできる仕事がない」、「業務効率が低下する」などの割合が高い



● これまでも実施したことはない ● 以前、テレワークを実施したことはある

これまでのテレワークの現状について

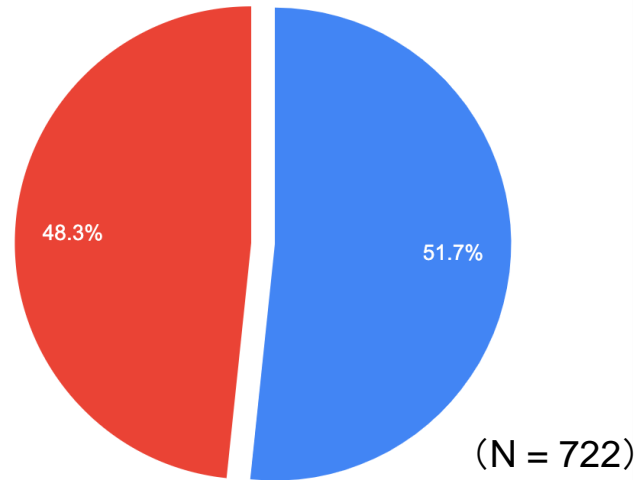


テレワークを実施しなかった理由

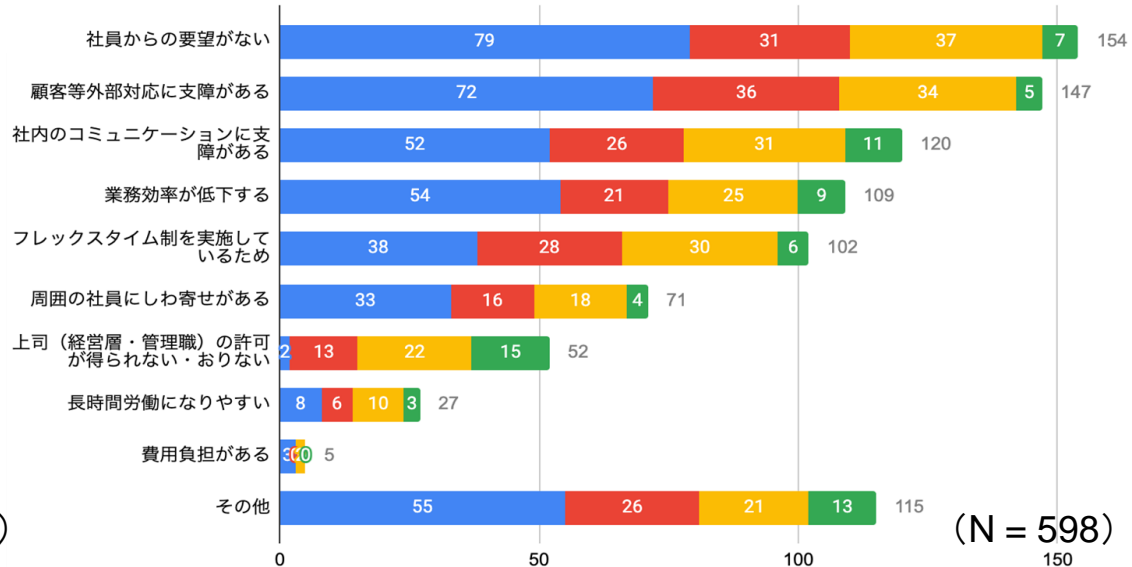
Q3: 時差出勤を実施しない理由

Q1において、「時差出勤」を選択されなかった企業の時差出勤の未実施理由

- ・ 以前は実施していた企業が約半数
- ・ 原因としては「社員からの要望がない」、「外部対応に支障がある」の割合が大きい
- ・ その他の意見としては、「変形労働時間制のため」「オフィスが賃貸で入退館時間に制限がある」などの意見があった



● これまでも実施したことはない。 ● 以前、時差出勤を実施したことはある。



■ 経営者・役員 ■ 管理職 ■ 労務担当者 (人事、総務、庶務担当等) ■ その他 (事務職、開発職、営業職等)

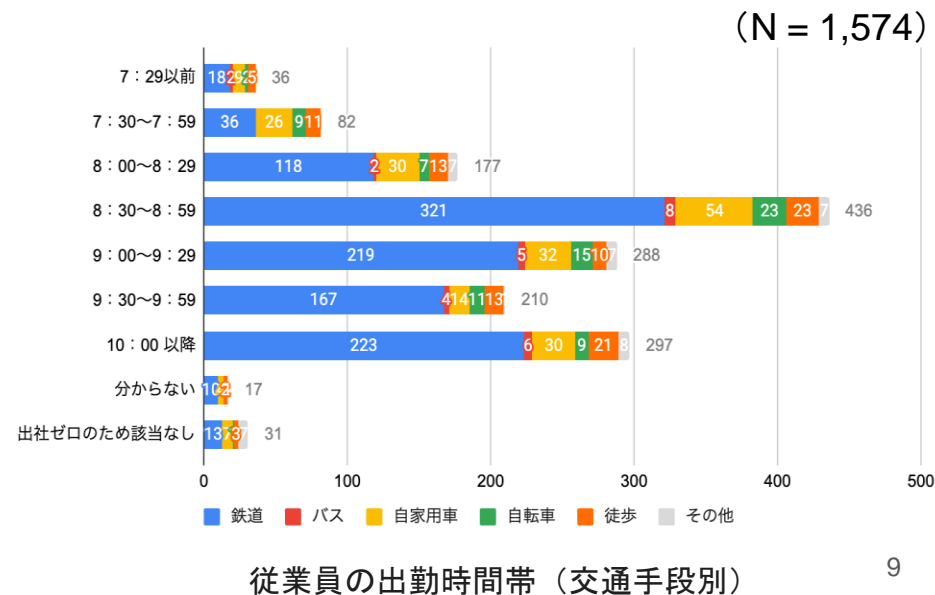
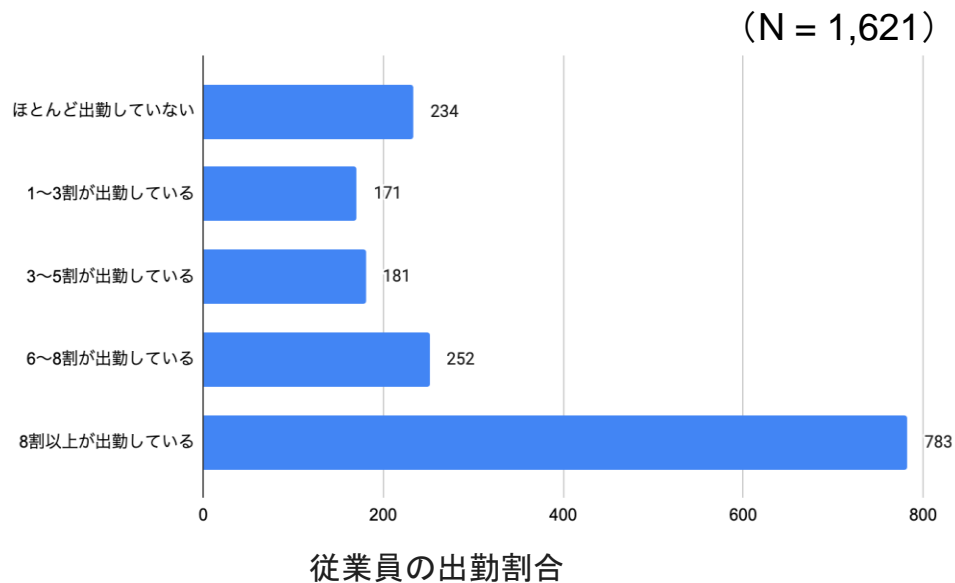
これまでの時差出勤の現状について

時差出勤を実施しなかった理由

Q4, 5: 従業員の出勤割合と時間帯

2023年8月の従業員の出勤割合とその時間帯

- ・ 約半数の企業が8割以上出勤していると回答
- ・ 一方で1.5割の企業はほとんど出勤していないと回答
- ・ 出勤の時間帯としては8:30～8:59が一番多く、依然として通勤時間ピーク帯に本社する企業が最も多い傾向は変わっていない。



Q6, 7: スムーズビズPR動画・オフピーク通勤の新ポスターの広報効果

東京都では6月より、オフピーク通勤の新ポスターを作成・公開いたしました。

(参考URL:<https://smooth-biz.metro.tokyo.lg.jp/downloads/>)

また、昨年の秋に作成した動画と合わせて、都内の駅等で公開し、スムーズビズのPRを実施しています。

- ・ 25%がこのポスター・動画を見ていると回答
- ・ ご覧になった方のうち、25%の方が取組について再認識したと回答

